



# LAN アップリンク マネージャの使用

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [LAN アップリンク マネージャ, 1 ページ](#)
- [LAN アップリンク マネージャの起動, 2 ページ](#)
- [LAN アップリンク マネージャでのイーサネット スイッチング モードの変更, 2 ページ](#)
- [LAN アップリンク マネージャでのポートの設定, 3 ページ](#)
- [サーバ ポートの設定, 3 ページ](#)
- [アップリンク イーサネット ポートの設定, 5 ページ](#)
- [アップリンク イーサネット ポート チャネルの設定, 6 ページ](#)
- [LAN ピン グループの設定, 9 ページ](#)
- [ネームド VLAN の設定, 11 ページ](#)
- [LAN アップリンク マネージャでの QoS システム クラスの設定, 14 ページ](#)

## LAN アップリンク マネージャ

LAN アップリンク マネージャは、Cisco UCS と LAN 間の接続を設定できる単一インターフェイスを提供します。LAN アップリンク マネージャを使用して次のものを作成および設定できます。

- イーサネット スイッチング モード
- アップリンク イーサネット ポート
- ポート チャネル
- LAN ピン グループ
- ネームド VLAN
- サーバ ポート

- QoS システム クラス

LAN アップリンク マネージャで行うことができる設定の一部は、[Equipment] タブまたは [LAN] タブなどの他のタブのノードでも行うことができます。

## LAN アップリンク マネージャの起動

### 手順

- 
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] ノードを展開します。
  - ステップ 3 [Work] ペインの [LAN Uplinks] タブで、[LAN Uplinks Manager] リンクをクリックします。別のウィンドウに [LAN Uplinks Manager] が開きます。
- 

## LAN アップリンク マネージャでのイーサネットスイッチングモードの変更



### 重要

イーサネットスイッチングモードを変更すると、Cisco UCS Manager により自動的にログアウトとファブリックインターコネクトの再起動が実行されます。クラスタ設定では、Cisco UCS Manager により両方のファブリック インターコネクトが順番に再起動されます。2 つめのファブリック インターコネクトがイーサネットスイッチングモードに変更され、システムが使用できるようになるまでには数分間かかります。設定が保持されます。

### 手順

- 
- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [Uplink Mode] 領域で、次のいずれかのボタンをクリックします。
    - Set Ethernet Switching Mode
    - Set Ethernet End-Host Mode

現在のスイッチングモードのボタンはグレー表示されています。

- ステップ 3 ダイアログボックスで、[Yes] をクリックします。

Cisco UCS Manager はファブリック インターコネクトを再起動し、ユーザをログアウトし、Cisco UCS Manager GUI との接続を解除します。

## LAN アップリンク マネージャでのポートの設定

設定できるのは固定ポートモジュールのサーバポートだけです。展開モジュールにはサーバポートは含まれません。

### 手順

- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [Ports] 領域で、下矢印をクリックして [Unconfigured Ports] セクションを展開します。
  - ステップ 3 [Fabric Interconnects] > [Fabric Interconnect Name] を展開します。
  - ステップ 4 次のいずれかを展開します。
    - [Fixed Module] : 固定モジュールのポートをサーバポートまたはアップリンク イーサネットポートとして設定します。
    - [Expansion Module Number] : 拡張モジュールのポートをアップリンク イーサネットポートとしてイネーブルにします。拡張モジュールのポートはサーバポートとして設定できません。
- 展開したノード以下にポートがリストされていない場合は、そのモジュールのすべてのポートがすでに設定されています。
- ステップ 5 設定するポートを右クリックし、次のいずれかを選択します。
    - Configure as Server Port
    - Configure as Uplink Port
  - ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## サーバポートの設定

### LAN アップリンク マネージャを使用したサーバポートのイネーブル化

この手順は、ポートがサーバポートとして設定されているものの、ディセーブルになっていることを前提としています。

## 手順

- 
- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [Ports] 領域で、下矢印をクリックして [Server Ports] セクションを展開します。
  - ステップ 3 [Fabric Interconnects] > [Fabric\_Interconnect\_Name] を展開します。
  - ステップ 4 イネーブルにするポートを右クリックし、[Enable] を選択します。
- 

## LAN アップリンク マネージャを使用したサーバポートのディセーブル化

## 手順

- 
- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [Ports] 領域で、下矢印をクリックして [Server Ports] セクションを展開します。
  - ステップ 3 [Fabric Interconnects] > [Fabric\_Interconnect\_Name] を展開します。
  - ステップ 4 ディセーブルにするポートを右クリックし、[Disable] を選択します。
  - ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- 

## LAN アップリンク マネージャを使用したサーバポートの設定解除

## 手順

- 
- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [Ports] 領域で、下矢印をクリックして [Server Ports] セクションを展開します。
  - ステップ 3 [Fabric Interconnects] > [Fabric\_Interconnect\_Name] を展開します。
  - ステップ 4 設定を解除するポートを右クリックし、[Unconfigure] を選択します。
  - ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

# アップリンク イーサネット ポートの設定

## LAN アップリンク マネージャを使用したアップリンク イーサネット ポートのイネーブル化

この手順は、ポートがアップリンクイーサネットポートとして設定されているものの、ディセーブルになっていることを前提としています。

### 手順

- 
- |        |   |
|--------|---|
| ステップ 1 | [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。   |
| ステップ 2 | [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Interfaces] > [Fabric Interconnects] > <i>[Fabric_Interconnect_Name]</i> を展開します。 |
| ステップ 3 | イネーブルにするポートを右クリックし、[Enable Interface] を選択します。   |
| ステップ 4 | Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。   |
- 

## LAN アップリンク マネージャを使用したアップリンク イーサネット ポートのディセーブル化

### 手順

- 
- |        |   |
|--------|---|
| ステップ 1 | [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。   |
| ステップ 2 | [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Interfaces] > [Fabric Interconnects] > <i>[Fabric_Interconnect_Name]</i> を展開します。 |
| ステップ 3 | ディセーブルにするポートを右クリックし、[Disable Interfaces] を選択します。<br>複数のアップリンクイーサネットポートをディセーブルにする場合は、複数のポートを選択できます。                |
| ステップ 4 | Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。   |
- 

ディセーブルにされたポートは、イネーブルのインターフェイスのリストから削除され、[Unconfigured Ports] リストに戻されます。

## LAN アップリンク マネージャを使用したアップリンク イーサネット ポートの設定解除

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Interfaces] > [Fabric Interconnects] > [Fabric\_Interconnect\_Name] を展開します。
- ステップ 3** 設定を解除するポートをクリックします。  
複数のアップリンク イーサネット ポートの設定を解除する場合は、複数のポートを選択できます。
- ステップ 4** [Disable Interface] をクリックします。
- ステップ 5** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- 

ディセーブルにされたポートは、イネーブルのインターフェイスのリストから削除され、[Unconfigured Ports] リストに戻されます。

## アップリンク イーサネット ポート チャネルの設定

### LAN アップリンク マネージャでのポート チャネルの作成

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Create Port Channel] をクリックします。
- ステップ 3** ポップアップ メニューから、ポート チャネルを作成する次のいずれかのファブリック インターコネクトを選択します。
- Fabric Interconnect A
  - Fabric Interconnect B
- ステップ 4** [Create Port Channel] ウィザードの [Set Port Channel Name] ページで、次の手順を実行します。
- a) 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[ID] フィールド	ポート チャネルの ID。 1 ～ 256 の整数を入力します。ポート チャネルが保存された後、この ID を変更することはできません。
[Name] フィールド	ポート チャネルのユーザ定義名。 この名前には、1 ～ 16 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) 以外の特殊文字またはスペースは使用できません。 また、オブジェクトを保存した後、この名前を変更することはできません。

b) [Next] をクリックします。

**ステップ 5** [Create Port Channel] ウィザードの [Add Ports] ページで、次の手順を実行します。

- a) [Ports] テーブルで、ポート チャネルに含める 1 つ以上のポートを選択します。
- b) [>>] ボタンをクリックして、[Ports in the port channel] テーブルにポートを追加します。  
ポート チャネルからポートを削除するには、[<<] ボタンを使用できます。

(注) Cisco UCS Manager サーバポートとして設定済みのポートを選択した場合、Cisco UCS Manager で警告が表示されます。ダイアログボックスの [Yes] をクリックして、このポートをアップリンクイーサネットポートとして再設定し、ポートチャネルに含めることができます。

**ステップ 6** [Finish] をクリックします。

## LAN アップリンク マネージャを使用したポートチャネルのイネーブル化

### 手順

- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Port Channels] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric\_Interconnect\_Name*] を展開します。
- ステップ 3** イネーブルにするポート チャネルを右クリックし、[Enable Port Channel] を選択します。
- ステップ 4** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## LAN アップリンク マネージャを使用したポートチャネルのディセーブル化

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Port Channels]>[Fabric Interconnects]>[*Fabric\_Interconnect\_Name*]を展開します。
- ステップ 3** ディセーブルにするポートチャネルを右クリックし、[Disable Port Channel] を選択します。
- ステップ 4** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- 

## LAN アップリンク マネージャを使用したポートチャネルへのポートの追加

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Port Channels]>[Fabric Interconnects]>[*Fabric\_Interconnect\_Name*]を展開します。
- ステップ 3** ポートを追加するポートチャネルを右クリックして、[Add Ports] を選択します。
- ステップ 4** [Add Ports] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- a) [Ports] テーブルで、ポートチャネルに含める 1 つ以上のポートを選択します。
  - b) [>>] ボタンをクリックして、[Ports in the port channel] テーブルにポートを追加します。  
ポートチャネルからポートを削除するには、[<<] ボタンを使用できます。
- (注) Cisco UCS Manager サーバポートとして設定済みのポートを選択した場合、Cisco UCS Manager で警告が表示されます。ダイアログボックスの [Yes] をクリックして、このポートをアップリンクイーサネットポートとして再設定し、ポートチャネルに含めることができます。
- ステップ 5** [OK] をクリックします。
-



## LAN アップリンク マネージャを使用したポート チャネルからのポートの削除

### 手順

- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Port Channels] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric\_Interconnect\_Name*] を展開します。
- ステップ 3 ポートを削除するポート チャネルを展開します。
- ステップ 4 ポート チャネルから削除するポートを右クリックし、[Delete] を選択します。
- ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## LAN アップリンク マネージャを使用したポート チャネルの削除

### 手順

- ステップ 1 [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Port Channels] > [Fabric Interconnects] > [*Fabric\_Interconnect\_Name*] を展開します。
- ステップ 3 削除するポート チャネルを右クリックし、[Delete] を選択します。
- ステップ 4 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## LAN ピン グループの設定

### LAN アップリンク マネージャでのピン グループの作成

2つのファブリック インターコネクトを持つシステムでピン グループとの関連付けができるのは、1つのファブリック インターコネクト、または両方のファブリック インターコネクトだけです。

### はじめる前に

ピン グループの設定に使用するポートおよびポート チャンネルを設定します。 使用できるのは、LAN ピン グループでアップリンク ポートとして設定されているポートおよびポート チャンネルだけです。

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Port Channels and Uplinks] 領域で、[Create Pin Group] をクリックします。
- ステップ 3** [Create LAN Pin Group] ダイアログボックスで、ピン グループの一意の名前と説明を入力します。
- ステップ 4** ファブリック インターコネクト A のトラフィックをピン接続するには、[Targets] 領域で次の手順を実行します。
- a) [Fabric Interconnect A] チェックボックスをオンにします。
  - b) [Interface] フィールドでドロップダウン矢印をクリックし、ツリー形式のブラウザを移動して、ピン グループに関連付けるポートまたはポート チャンネルを選択します。
- ステップ 5** ファブリック インターコネクト B のトラフィックをピン接続するには、[Targets] 領域で次の手順を実行します。
- a) [Fabric Interconnect B] チェックボックスをオンにします。
  - b) [Interface] フィールドでドロップダウン矢印をクリックし、ツリー形式のブラウザを移動して、ピン グループに関連付けるポートまたはポート チャンネルを選択します。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。
- 

### 次の作業

ピン グループは、vNIC テンプレートにインクルードします。

## LAN アップリンク マネージャを使用したピン グループの削除

### 手順

- 
- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [LAN Uplinks] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Pin Groups] 領域で、削除するピン グループを右クリックし、[Delete] を選択します。
- ステップ 3** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

# ネームド VLAN の設定

## LAN アップリンク マネージャを使用したネームド VLAN の作成

2つのスイッチを持つ Cisco UCS ドメインでは、両方のスイッチまたは1つのスイッチだけにアクセスできるネームド VLAN を作成できます。



**重要** 3968 から 4047 の ID を使用して VLAN を作成することはできません。この範囲の VLAN ID は予約されています。

LAN クラウドの VLAN および SAN クラウドの FCoE VLAN には、異なる ID を割り当てる必要があります。VLAN と VSAN の FCoE VLAN に同じ ID を使用すると、重大な障害が発生し、VLAN を使用するすべての vNIC とアップリンク ポートでトラフィックの中断が発生します。イーサネット トラフィックは、FCoE VLAN ID と重複する ID を持つ VLAN でドロップされます。

### 手順

- ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [VLANs] タブをクリックします。
- ステップ 2** テーブルの右側のアイコン バーの [+] をクリックします。  
[+]アイコンがディセーブルの場合、テーブルのエントリをクリックして、イネーブルにします。
- ステップ 3** [Create VLANs] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[VLAN Name/Prefix] フィールド	単一の VLAN の場合、VLAN 名を指定します。VLAN の範囲の場合、各 VLAN 名に使用される接頭辞を指定します。  VLAN 名の大文字と小文字は区別されます。  この名前には、1 ～ 32 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン) 、 _ (アンダースコア) 、 : (コロン) 、 および . (ピリオド) 以外の特殊文字またはスペースは使用できません。また、オブジェクトを保存した後、この名前を変更することはできません。
[Multicast Policy] ドロップダウン リスト	この VLAN に関連付けられたマルチキャスト ポリシー。  ポリシーを選択しなかった場合、Cisco UCS Manager はデフォルトのマルチキャスト ポリシーの設定を使用します。
[Create Multicast Policy] リンク	すべての VLAN に使用可能な新しいマルチキャスト ポリシーを作成するには、このリンクをクリックします。

名前	説明
設定オプション	<p>次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Common/Global] : 指定した VLAN は両方のファブリックに適用され、どちらのファブリックでも同じ設定パラメータが使用されます。</li> <li>• [Fabric A] : 指定した VLAN は、ファブリック A だけに適用されます。</li> <li>• [Fabric B] : 指定した VLAN は、ファブリック B だけに適用されます。</li> <li>• [Both Fabrics Configured Differently] : 指定した VLAN は、両方のファブリックに適用されますが、ファブリックごとに異なる VLAN ID を指定できます。</li> </ul> <p>アップストリーム disjoint L2 ネットワークの場合、[Common/Global] を選択して、両方のファブリックに適用する VLAN を作成することをお勧めします。</p>
[VLAN IDs] フィールド	<p>1 つの VLAN を作成するには、単一の数値 ID を入力します。複数の VLAN を作成するには、個々の ID や ID の範囲をカンマで区切って入力します。VLAN ID には次の値を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 ～ 3967 の範囲</li> <li>• 4048 ～ 4093 の範囲</li> <li>• システム上ですでに定義されている他の VLAN ID と重複する値</li> </ul> <p>たとえば、ID が 4、22、40、41、42、および 43 の 6 つの VLAN を作成するには、4, 22, 40-43 を入力します。</p> <p><b>重要</b> 3968 から 4047 の ID を使用して VLAN を作成することはできません。この範囲の VLAN ID は予約されています。</p> <p>LAN クラウドの VLAN および SAN クラウドの FCoE VLAN には、異なる ID を割り当てる必要があります。VLAN と VSAN の FCoE VLAN に同じ ID を使用すると、重大な障害が発生し、VLAN を使用するすべての vNIC とアップリンク ポートでトラフィックの中断が発生します。イーサネットトラフィックは、FCoE VLAN ID と重複する ID を持つ VLAN でドロップされます</p>

名前	説明
[Sharing Type] フィールド	<p>この VLAN がプライベート VLAN またはセカンダリ VLAN に再分割されるかどうか。 次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [None] : この VLAN には、セカンダリ VLAN またはプライベート VLAN がありません。</li> <li>• [Primary] : [Secondary VLANs] 領域に示すように、この VLAN には 1 つ以上のセカンダリ VLAN が存在できます。</li> <li>• [Isolated] : これはプライベート VLAN です。 プライマリ VLAN とこれが関連付けられた VLAN は、[Primary VLAN] ドロップダウン リストに表示されます。</li> </ul>
[Primary VLAN] ドロップダウン リスト	[Sharing Type] フィールドが [Isolated] に設定されている場合、これはこのプライベート VLAN に関連付けられたプライマリ VLAN です。
VLAN の許容組織	VLAN に表示されるリストから組織を選択します。 この VLAN は、ここで選択する組織で使用できます。
[Check Overlap] ボタン	このボタンをクリックして、VLAN ID がシステム上の他の ID と重複していないかどうか確認します。

#### ステップ 4 [OK] をクリックします。

Cisco UCS Manager によって次の [VSANs] ノードの 1 つに VSAN が追加されます。

- 両方のファブリック インターコネクต์にアクセス可能な VLAN の場合は、[LAN Cloud] > [VLANs] ノード。
- 1 つのファブリック インターコネクต์だけにアクセス可能な VLAN の場合は、[Fabric\_Interconnect\_Name] > [VLANs] ノード。

## LAN アップリンク マネージャを使用したネームド VLAN の削除

Cisco UCS Manager に、削除する VLAN と同じ VLAN ID を持つネームド VLAN が含まれている場合、この ID を持つネームド VLAN がすべて削除されるまで、この VLAN はファブリック インターコネクต์設定から削除されません。

## 手順

**ステップ 1** [LAN Uplinks Manager] で [VLANs] タブをクリックします。

**ステップ 2** 削除する VLAN のタイプに応じて、次のいずれかのサブタブをクリックします。

サブタブ	説明
All	Cisco UCS ドメインのすべての VLAN を表示します。
Dual Mode	両方のファブリック インターコネクต์にアクセス可能な VLAN を表示します。
Fabric A	ファブリック インターコネクต์ A にのみアクセス可能な VLAN を表示します。
Fabric B	ファブリック インターコネクต์ B にのみアクセス可能な VLAN を表示します。

**ステップ 3** テーブルで、削除する VLAN をクリックします。

Shift キーまたは Ctrl キーを使用して、複数のエントリを選択できます。

**ステップ 4** 強調表示された 1 つまたは複数の VLAN を右クリックし、[Delete] を選択します。

**ステップ 5** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## LAN アップリンク マネージャでの QoS システム クラスの設定

サーバ内のアダプタのタイプによっては、サポートされる MTU の最大値が制限される場合があります。たとえば、ネットワーク MTU が最大値を超えた場合、次のアダプタでパケットがドロップする可能性があります。

- Cisco UCS M71KR CNA アダプタ：サポートされる MTU の最大値は 9216 です。
- Cisco UCS 82598KR-CI アダプタ：サポートされる MTU の最大値は 14000 です。

## 手順

**ステップ 1** LAN アップリンク マネージャで、[QoS] タブをクリックします。

**ステップ 2** システムのトラフィック管理ニーズを満たすために設定するシステム クラスの次のプロパティを更新します。

(注) 一部のプロパティはすべてのシステム クラスに対して設定できない場合があります。

名前	説明
[Enabled] チェックボックス	<p>このチェックボックスをオンにすると、対応する QoS クラスがファブリック インターコネクト上で設定され、QoS ポリシーに割り当て可能になります。</p> <p>このチェックボックスをオフにすると、このクラスはファブリック インターコネクト上で設定されず、このクラスに関連付けられた QoS ポリシーはデフォルトの [Best Effort] になるか、（システム クラスが 0 の Cos で設定されている場合は）Cos 0 システム クラスになります。</p> <p>(注) このフィールドは、[Best Effort] と [Fibre Channel] の場合は常にオンです。</p>
[Cos] フィールド	<p>サービス クラス。0 ～ 6 の整数を入力できます。0 は最低プライオリティを表し、6 は最高プライオリティを表します。QoS ポリシーが削除されるか、割り当てられたシステム クラスがディセーブルになったときに、システム クラスをトラフィックのデフォルトシステム クラスにする必要がある場合を除き、この値を 0 に設定することは推奨しません。</p> <p>(注) このフィールドは、内部トラフィックの場合は 7 に、[Best Effort] の場合は [any] に設定されます。これらの値は両方とも予約されており、他のプライオリティに割り当ててはできません。</p>
[Packet Drop] チェックボックス	<p>このチェックボックスをオンにすると、このクラスに対してパケットの破棄が許可されます。このチェックボックスをオフにすると、送信時にパケットを破棄できません。</p> <p>このフィールドは、[Fibre Channel] クラスの場合は常にオフであり（破棄パケットは決して許可されない）、[Best Effort] の場合は常にオンです（破棄パケットは常に許可される）。</p>
[Weight] ドロップダウン リスト	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 ～ 10 の整数。整数を入力すると、[Weight (%)] フィールドの説明に従って、このプライオリティ レベルに割り当てられるネットワーク帯域幅の割合が Cisco UCS によって決定されます。</li> <li>• best-effort.</li> <li>• none.</li> </ul>

名前	説明
[Weight (%)] フィールド	<p>チャンネルに割り当てられる帯域幅を決定するために、Cisco UCS によって次の作業が実行されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 すべてのチャンネルの重みを加算します。</li> <li>2 チャンネルの重みをすべての重みの和で割って、割合を求めます。</li> <li>3 その割合の帯域幅をチャンネルに割り当てます。</li> </ol>
[MTU] ドロップダウン リスト	<p>チャンネルの最大伝送単位。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1500～9216 の整数。この値は最大パケットサイズに対応します。</li> <li>• [fc] : 事前に定義されている 2240 のパケット サイズ。</li> <li>• [normal] : 事前に定義されている 1500 のパケット サイズ。</li> </ul> <p>(注) このフィールドは、[Fibre Channel] の場合は常に [fc] に設定されます。</p>
[Multicast Optimized] チェックボックス	<p>このチェックボックスをオンにすると、パケットを複数の宛先に同時に送信するように、クラスが最適化されます。</p> <p>(注) このオプションは、[Fibre Channel] には適用されません。</p>

### ステップ 3 次のいずれかを実行します。

- [OK] をクリックして変更を保存し、LAN アップリンク マネージャを終了します。
- [Apply] をクリックし、LAN アップリンク マネージャを終了せずに変更を保存します。